



私の大切な家族

六年 渡邊美翔

私は、十四才のトイプードルを飼っています。名前はアリスです。人間の年れいで七十四才になるので、もうおばあちゃんです。私が生まれた時から、ずっと一緒にいる大切な家族です。

私が小さいころは、一緒に走ったり、ボールを投げて遊んだり、すぐやんちゃな元氣いっぱいなアリスでした。でも今では、散歩にいても、歩くペースがおそくなり、歩くきよりも少なくなり、この一、二年ですごく年をとったように感じます。三年前くらいから、心臓の病氣になったり、てんかんの発作が出ちゃったり、辛そうな時もいっぱいありました。毎日頑張って薬を三つものんでいます。薬がきらいで、はき出そうとしたり、ご飯の中に混ぜても、うまく薬だけ残したり、少し抵抗するアリスを見て、（可愛いなあ。）と笑ってしまいます。人間は話すことができるから、こんな時、「飲みたくない。いやだよ。」と気持ちが言えるけど、アリスは言えないから、ちよつとかわいそうだなと思いました。でも、長生きしてほしいから、薬はちゃんと飲んでほしいので、薬を飲んだら、「えらかったね。頑張ったね。」と、いっぱいほめてあげたいです。

今、一番かわいそうなのが、アリスの歯です。歯の病氣で、あごからうみや血が出ちゃったりして、何回も病院に行っています。注射も何回もして、いやで先生をかみつこうとおどかして、怒ったりします。お母さんは、毎日いやがってもちゃんと歯みがきをしてあげれば良かったと後かいしています。でも、後かいしても時間はもう元には戻せないの、アリスが辛いように、できるお世話はしっかりとしていきたいです。

私にとって、アリスは本当に大切な家族です。一緒に起きて、一緒に部屋で過ごしたり、車でのお出かけも私がついて行ったり、寝る時も一緒にです。アリスが留守番の時は、少しさみしそうな顔をしてるように見えたり、帰ってきた時は、「待ってたよ。えらかったでしょ。」と、言っているかのように、ジャンプして喜んで気持ちを表します。アリスと一緒にいるだけで、私はすごく安心しておだやかな気持ちになれるので、これからも長く一緒にいられるように、家族みんなで大切にしていきたいです。アリス、大好きだよ。